

市場価格

ドル建て ドル/TOZ

Platinum	Price	Date
Open	1153.00	2021/6/14
High	1175.42	2021/6/14
Low	1038.70	2021/6/18
Close	1039.00	2021/6/18

円建て 円/グラム

Platinum	Price	Date
Open	4062.00	2021/6/14
High	4153.00	2021/6/14
Low	3680.00	2021/6/18
Close	3680.00	2021/6/18

ドル建て ドル/TOZ

Palladium	Price	Date
Open	2779.00	2021/6/14
High	2842.00	2021/6/17
Low	2445.00	2021/6/18
Close	2468.00	2021/6/18

円建て 円/グラム

Palladium	Price	Date
Open	6791.00	2021/6/14
High	10040.00	2021/6/17
Low	8683.00	2021/6/18
Close	8743.00	2021/6/18



ニュースエクスプレス

Titan Hydrogen社、画期的な燃料電池技術を開発中

豪Titan Hydrogen社が開発中の燃料電池は、同じ水素からより多くの発電が可能な画期的な技術となる。

オーストラリアで初めて製造される同社の自動車用燃料電池は、燃料費の大幅な削減を実現させ水素が主要燃料となることにつながる、と同社。革新的な技術を採用し、60%以上の効率性の向上が見込まれる。

固体高分子形燃料電池(PEM)のネックは現在いくつかあるが、一つにはバスやトラックを走らせるのに大量の水素が必要で、そのため採算性が低いことがある。

さらに、通常90%以上の蓄電が可能な電池に比べ、PEM燃料電池は変換効率が低く、蓄電能力が50%ほどとされる点がある。

<https://www.h2-view.com/story/titan-hydrogen-set-to-commercialise-its-revolutionary-hydrogen-fuel-cell-technology-developing-more-efficient-fuel-cells/>

ホンダ 宇宙空間で水 酸素 水素を循環し活用 JAXAと研究開発へ

自動車メーカーのホンダが、宇宙空間で水から酸素や水素をつくり、電源などとして活用するシステムの研究開発をJAXA＝宇宙航空研究開発機構とともに進めることになりました。

発表によりますと、ホンダとJAXAは、宇宙空間での生活に必要な水や酸素、電力を地球から調達せず、宇宙にしながら作り出すシステムの開発に向けて共同研究をします。

具体的には、太陽光発電で水を分解して酸素と水素をつくり、さらに燃料電池の技術でふたつを反応させて電力にしたり、この過程で出てきた水を再び利用したりする循環型の仕組みで、そこから生み出された水や酸素、電力は、宇宙空間の有人施設や車両の電源として使うことを想定しています。

今年度中に試作用のシステムをつくり、温度や放射線量など地球と異なる環境のもとでもシステムが正常に機能するか検証することとしています。

<https://www3.nhk.or.jp/news/html/20210615/k10013085121000.html>

SBI証券、7月から金・銀・プラチナ取引の手数料を引き下げへ

SBI証券は18日、7月1日約定分から金・銀・プラチナ手数料の引き下げを実施すると発表した。現行の約定代金2.2%（税込）を7月約定分より1.65%（税込）に引き下げ、主要ネット証券5社のうち業界最低水準の手数料となる。

SBI証券では、金・銀・プラチナ投資を、まとまった金額で購入する「スポット取引」のほか、積立取引として、少額から積立購入する方法も提供している。今回の取引手数料の引き下げは、スポット購入・積立購入いずれも対象となり、手数料は同一の1.65%となる。

貴金属地金は、世界共通の価値を保有していることが最大の特徴で、数ある資産運用商品のうち、比較的価格の安定した商品としてポートフォリオに組み込む投資家も多い。特に金相場に関しては、新型コロナウイルス感染拡大が始まった頃の2020年4月に、40年ぶりとなる過去最高値をつけたことは記憶に新しい。保有資産のリスク分散や、経済環境の悪化に備えたリスクヘッジの一環であり、いわゆる「有事の金」として、依然高い人気を博している。

<https://www.zaikei.co.jp/article/20210620/626246.html>

Translated by Kazuko Osawa, JBMA



WPIC直近の活動

- 2021年のプラチナ・イーグル1オンスコインは5月末までに7万5000枚と言う史上第二位の売り上げを記録した（3月に3万5000オンス、2ヶ月後にさらに4万オンス製造されている）。これは昨年、21年ぶりに最高となった5万6500枚を33%も上回っているが、プラチナ1オンスコインの史上最高売上高は1998年の13万3002枚である。詳しくはプラチナ豆知識「プラチナイーグル、さらなる高みへ」（2021年6月16日）をごらんください。

[https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC\\_60seconds\\_New\\_heights\\_for\\_platinum\\_Eagles\\_06162021\\_JA.pdf](https://platinuminvestment.com/files/sixtysecs/jp/WPIC_60seconds_New_heights_for_platinum_Eagles_06162021_JA.pdf)



(@wpicjapan)

免責事項：本資料は情報提供に過ぎず、WPICの投資提案を意図するものではなく、また、そのように解釈されるべきでもありません。